

## 秋田焼山の火山活動解説資料（平成 24 年 3 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

東北地方整備局が山頂の西約 2km に設置してある焼山監視カメラでは、叫沢源頭部及び湯沼の噴気の高さは 10m 以下で噴気活動は低調な状態（6 日以降は欠測）となっています。

#### ・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は少ない状況となっています。  
火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 5～6）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

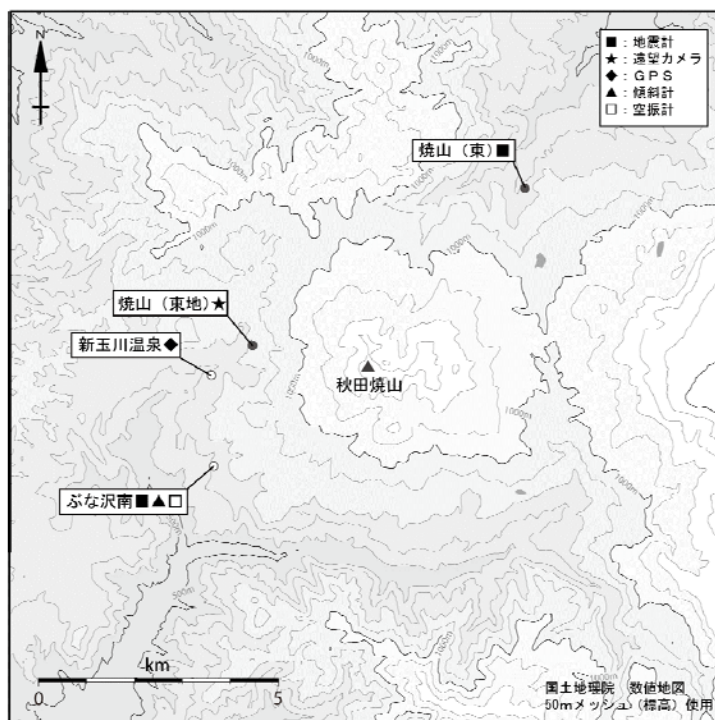


図 1 秋田焼山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （東）：東北大学

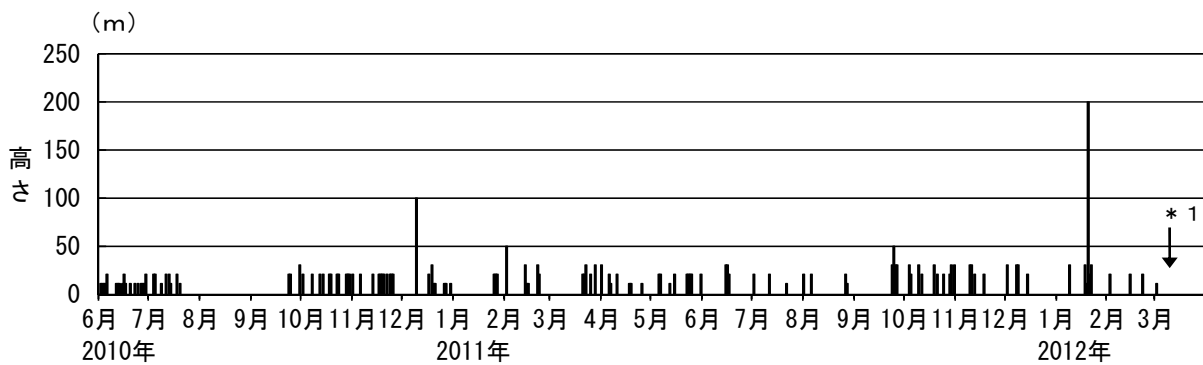
この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 4 月分）は平成 24 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

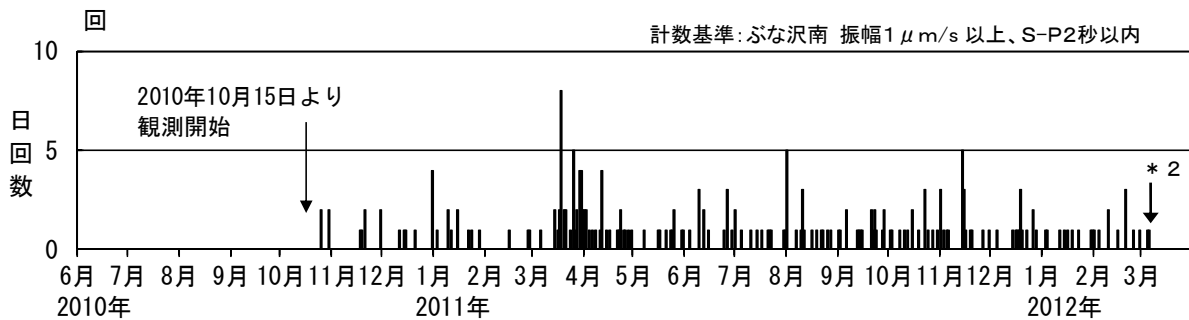
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。



**図 2\*** 秋田焼山 叫沢源頭部の噴気の状況（3月1日 09時 35分頃）  
 山頂の西約 2 km に設置してある焼山監視カメラ（東北地方整備局）による。  
 実線赤丸で囲んだのが、叫沢源頭部の白色噴気で高さ 10m。



**図 3\*** 秋田焼山 日別最大噴気の高さ（2010年6月～2012年3月）  
 ・2010年6月1日から焼山監視カメラ（東北地方整備局）により観測開始。  
 \* 1 2012年3月6日以降は機器障害のため欠測となっています。



**図 4** 秋田焼山 火山性地震の日別回数（2010年10月～2012年3月）  
 ・2010年10月15日から観測開始。  
 \* 2 2012年3月6日以降は機器障害のため欠測となっています。

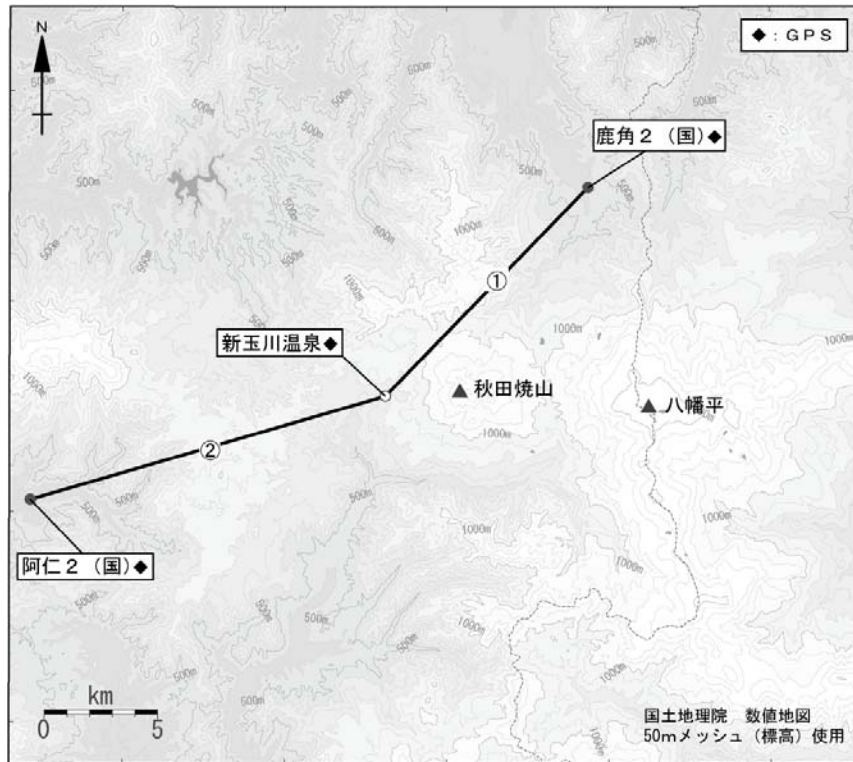


図5 秋田焼山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。（国）：国土地理院  
GPS 基線①～②は図6の①～②に対応しています。

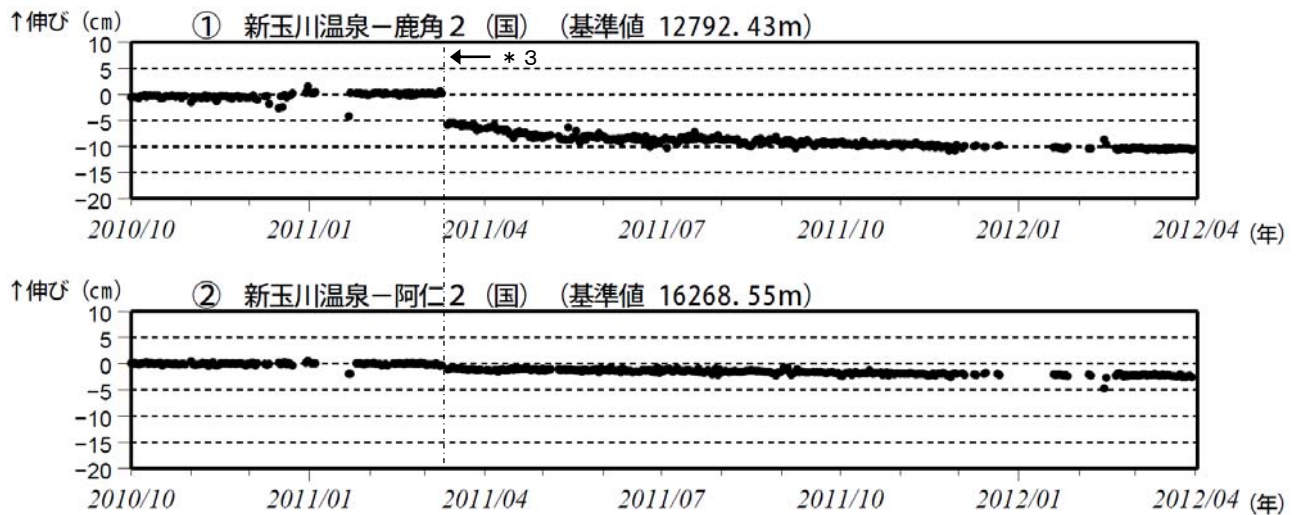


図6※ 秋田焼山 GPS 基線長変化図（2010年10月～2012年3月）

2011年3月11日以降の縮みの傾向は、東北地方太平洋沖地震による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。

①～②は図5のGPS基線①～②に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

\* 3：2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響による